

都市再生整備計画書

だいせんしかりわの
大仙市刈和野 地区

あきたけんだいせんし
秋田県大仙市

平成30年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	秋田県	市町村名	だいせんし 大仙市	地区名	かりわの 刈和野	面積	37.8 ha
計画期間	平成	31	年度	～	平成	33	年度
交付期間	平成	31	年度	～	平成	33	年度

目標

大目標：地域伝統行事の継承・活用と文化・活動・交流の拠点整備による地域の活性化と交流の推進

目標①：地域住民の活動・交流を促進し、地域の活性化を図る。

目標②：地域の伝統行事や文化イベント等と連携したにぎわい創出と回遊性の向上を図り、交流を推進する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 本市は、平成17年3月に8市町村が合併して誕生し、市域は866.7km²と広大になったものの、人口は平成17年の93,352人から平成27年には82,783人と減少の一途をたどっており、道路や水道のインフラの維持等に支障を来すことが懸念されている。
- このような中、都市計画マスタープランでは、大曲駅周辺を本市の中核拠点として定めるとともに、合併前の旧市町村において中心となっていた地区を地域拠点として位置づけ、点と軸によるネットワークの形成により持続可能な都市経営を目指すこととしている。
- 刈和野地区は、西仙北地域の地域拠点として位置づけられている。平成29年3月に策定した立地適正化計画では、同地区に居住誘導区域及び都市機能誘導区域が定められており、誘導施設として公民館が位置づけられている。
- 同地区にある既存公民館は、昭和54年に建設され、地域の文化・活動・交流の拠点として利用されてきたが、建築から40年が経過し老朽化が顕著となっており、平成19年度に実施した耐震診断では、早急に耐震補強等の対策が必要であるとの診断がなされていることに加え、3階建ての施設であるにもかかわらずエレベーターが設置されていない、土足に対応していないなど、利用者や地域団体から改善の要望がなされたことから、平成26年9月から民間団体の代表などから成る改築検討委員会において改築に関する検討を進めてきた。
- また、同地区では、500年余りの伝統を誇る国内最大級の大綱として、当市で唯一国の指定重要無形民俗文化財に指定されている「刈和野の大綱引き」が地域の伝統行事として広く知られているが、人口減少や地域コミュニティの希薄化、生活スタイルの変化に伴い運営に携わる人材が年々減少してきており、行事の維持・継承が懸念される状況にある。
- 同行事は、誰でも自由に参加できるが、それは主に綱引き当日だけであり、当日以外は浮嶋神社に奉納された大綱や刈和野大綱展示場（JR刈和野駅前）に展示されている大綱を見学する程度しかできない状況にあることから、運営団体である刈和野大綱引保存会からは、人材確保と後継者育成、伝統行事の継承に加え、地域資源を活かした通年観光化による地域活性化について要望がなされている。
- 「刈和野の大綱引き」の保存継承を図るため、地域では小中学生及び高校生が綱づくりに参加するなど、文化の継承と後継者の育成に力を入れている。また、大綱引き当日を盛り上げようと、行政と西仙北地域の民間企業や団体が協働し平成27年からイベントを行うとともに、平成29年には中学生が主体となり、缶バッジの製作・販売を行うなど、地域の伝統文化に対する意識が高まってきている。
- 同様の伝統的な大綱引き文化のある韓国唐津（タンジン）市とは、平成19年に友好交流都市として交流をはじめ、これまで綱引きを通じた文化、行政間、青少年、スポーツ交流を行い、平成29年で10周年を迎えた。これを機に、相互理解を深め、民間主導による交流を促進するため、経済交流会議を開催するなど更なる交流を深めることとしている。
- 事業区域内では、大仙市立西仙北中学校の生徒が地域住民や民間企業・団体を巻き込み、地域活性化の拠点として空き家をリノベーションし地域の新しい交流の場を創出するなど、中学校から発信された新たな取り組みにより地域住民のまちづくりへの関心が高まっていることから、この機を逃さず、協働によるまちづくりを集中的に実施する必要がある。なお、同施設では、学校の美術作品の展示や町内会活動、各種団体活動の場として利用されているほか、刈和野の大綱引き当日には観光案内及び休憩所として活用されている。

課題

- 既存の西仙北中央公民館は、建築から40年が経過し老朽化が顕著となっておりことや利便性が低下していることに加え、早急に耐震補強等の対策が必要となっている。
- また、同館及びその敷地は近隣3町内の災害時避難施設（収容人員1,300人）に指定されていることから、利用者の安全確保や避難施設としての機能強化を図る必要がある。
- 当該地区で行われている伝統行事「刈和野の大綱引き」は、運営に係わる人材が年々減少してきており、行事の維持・継承が懸念される状況にある。
- 都市計画マスタープランにおいて、地域拠点として位置づけられている地区であることから、都市機能の更新と機能集約を進める必要がある。

将来ビジョン(中長期)

- 第2次大仙市総合計画基本構想（H28.3）では、市街地の整備について、市街地の低密度な拡散を回避し、機能集約を図った集約型都市構造の実現に向けた適正な都市計画の推進を目指すこととしている。
- また、地域社会の維持・活性化について、各種生活サービスや地域住民同士のコミュニケーションや交流をつなぎ、集落地域の暮らしの安全・安心を守る小さな拠点の形成を目指すこととし、生涯学習・子育て・防災・世代間交流の4つの分野に係る機能を担う複合型施設の整備に取り組むこととしている。
- さらには、同構想地域振興計画では、刈和野地区を含む西仙北地域の目指すべき地域像として「伝統文化の継承による活気あるまちづくりと地域住民がともに支え合う地域」を掲げ、伝統文化や地域行事を活用した活気ある地域づくりを目指すこととしている。
- 都市計画マスタープラン（H21.7）では、機能集約を図るべき「拠点」を明確にするとともに、「軸」によるネットワークの形成により、持続的な都市経営の実現を目指すこととしており、大曲駅周辺を市の中核拠点として、また、大曲地域を除く7地域の支所・駅周辺を地域拠点として位置づけ、行政機能や交通結節機能、文化教育、医療・福祉、商業等の機能を維持、強化することとしている。
- 地域コミュニティ活動拠点形成ビジョン（H28.3）では、大曲地域を除く7地域の支所周辺を地域コミュニティ活動拠点とし、地域道路や鉄道、土地利用に配慮しながら施設などの整備を計画していくこととしている。

目標を定量化する指標

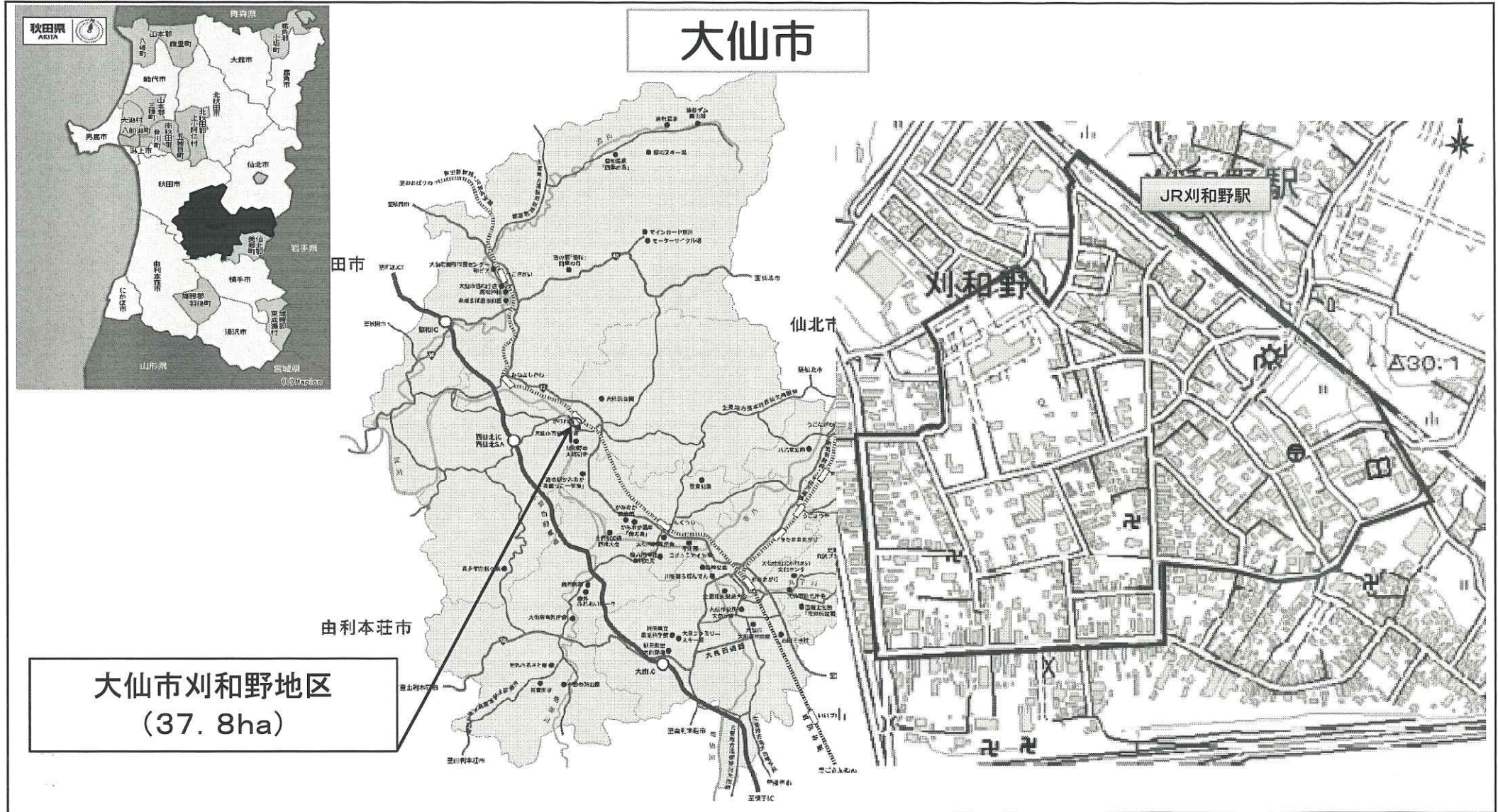
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
(仮称)大綱交流館利用者数	人/年	(仮称)大綱交流館の年間利用者数	地域コミュニティ活動・交流の拠点整備による活動・交流人口の推移を示す指標として、(仮称)大綱交流館の年間利用者数を指標とする。	21,952	H29	30,000	H33
地域活性化に関する地域住民満足度	5段階評価	地域活性化に関する地域住民の満足度	地域の活性化を目標としていることから、地域活性化に対する地域住民の満足度を指標とする。	3.09	H29	3.50	H33
刈和野の大綱引き関連イベント参加者数	人/年	刈和野の大綱引き及び関連するイベントへの参加者数	地域の伝統行事等と連携したにぎわい創出を測る指標として、刈和野の大綱引き関連イベントへの参加者数を指標とする。	7,858	H29	12,058	H33

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 <(仮称)大綱交流館の整備により、地域住民が活動・交流する場を創出する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備から40年が経過している既存生涯学習施設を更新し、都市施設としての機能の更新・強化を図るとともに、地域コミュニティ活動や住民同士の交流を促進し、地域の活性化を図る。 ・展示コーナー及び作業棟では、綱引きの歴史や大綱の製作過程、綱飾り作業や大綱引き当日の行事の様子、国外の友好交流都市で行われている綱引き行事などを紹介するとともに、大綱製作に合わせ、実際に作業体験ができる施設として整備し、刈和野大綱引保存会と連携しながら伝統行事の継承と活用を図る。 ・地域行事や地域資源を活用した地域住民が主役となるソフト事業を企画、実施し、地域住民が主体的にまちづくりに取り組む環境を創出する。 ・関連事業として、大綱引き会場に面する大綱交流サロンを改築し、綱引き当日には観覧場として、当日以外は(仮称)大綱交流館のサテライト施設として利用を促進し、地域住民の活動・交流の機会を創出する。 ・また、園児や小学生を対象とした読み聞かせ教室など隣接する図書館との連携を継続し、利用者の利便性を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○(仮称)大綱交流館整備事業(基幹事業/高次都市施設:地域交流センター) ○「刈和野の大綱引き」伝統継承事業(提案事業/地域創造支援事業) ○地域資源活用にぎわい創出事業(提案事業/まちづくり活動支援事業) ・大綱交流サロン改築事業(関連事業/市)
<p>整備方針2 <地域の伝統行事や文化イベント等と連携した回遊性の向上></p> <ul style="list-style-type: none"> ・統一性のある観光案内板の設置や街灯に添架されている案内板のデザイン更新により、まちなかの景観形成と回遊性向上を図る。 ・関連事業として大綱交流サロンの改築を実施し、来訪者の休憩スペース、イベントの開催、綱引きに関する資料展示など交流、滞留の場を創出し、ホスピタリティの向上を図る。 ・JR刈和野駅前にあり、地域のシンボルである原寸大の大綱を展示している刈和野大綱展示場を改築し、地域の伝統行事である国内最大級の大綱引きのPR効果を高めるとともに、実際に触れることができる展示方法とし、刈和野駅を起点としたまちなか回遊を促進する。 ・また、地域の団体や中学校と連携しながらまちの魅力向上に務めるとともに、地域の伝統行事を核とするソフト事業を企画、運営し、伝統行事の維持、継承を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○案内板整備事業(基幹事業/地域生活基盤施設:情報板) ○(仮称)大綱交流館整備事業(基幹事業/高次都市施設:地域交流センター) ○刈和野大綱展示場改築事業(提案事業/地域創造支援事業) ○まち歩き観光交流促進事業(提案事業/地域創造支援事業) ○体験プログラム企画運営事業(提案事業/まちづくり活動推進事業) ・大綱交流サロン改築事業(関連事業/市) ・刈和野の大綱引き映像上映事業(関連事業/市)
<p>その他</p> <p>○事業終了後の継続的なまちづくり活動 本地区では、伝統行事の継承とまちづくりへの活用の検討がなされてきたことに加え、中学生から発信された新たな取り組みがきっかけとなり、まちづくりへの関心が高まっていることから、関係者間の連携・連絡を図りながら引き続きまちづくりを推進する。</p> <p>○交付期間中の計画の管理について 交付期間中において各種事業を円滑に進めるため、庁内での調整・連携体制を確保するとともに、西仙北地域協議会において事業の進行管理、評価を行う。また、都市再生整備計画書や計画概要等を市のホームページで公開する。</p>	

都市再生整備計画の区域

大仙市刈和野地区(秋田県大仙市)	面積	37.8 ha	区域	大仙市刈和野
------------------	----	---------	----	--------



大仙市刈和野地区(秋田県大仙市)整備方針概要図

目標	地域の伝統行事の継承・活用と文化・活動・交流の拠点整備による地域の活性化と交流の推進	代表的な 指数	(仮称)大綱交流館利用者 (人/年)	21,592 (H29)	→	30,000 (H33)	
			地域活性化に関する地域住民満足度	5段階評価	3.09 (H29)	→	3.50 (H33)
			刈和野の大綱引き関連イベント参加者数 (人/年)	7,858 (H29)	→	12,058 (H33)	

